

第4学年〇組 学級活動(1)指導案

日 時：令和6年〇月〇日(〇)第〇校時

場 所：4年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

1 議題「2学期がんばったねの会をしよう」

(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は温和でおとなしい児童が多い。クラス全員と仲よくし、協力して物事に取り組んでいくことを大切にしている。しかし、教室の中では特定の児童としか仲よくできない児童や他の児童と仲よくしたくてもきっかけがつかめないという児童もいる。学級会アンケートを実施したところ、学級会が好きな児童が多い反面、自分の意見を発表することが苦手な児童が多数見受けられた。理由として、恥ずかしさや自分の考えを大切に扱ってくれているか分からないという意見があった。

これらの結果から、本学級の課題は人間関係の希薄さや自己肯定感の低さである。学級活動を通して、児童一人一人が互いの考えを認め合い、児童同士の関わりを増やして互いを理解し合っていく経験を積ませていくことで学級の課題を解決につなげられると考える。

1学期の話合い活動では、「〇〇ンピックがんばったね会をしよう」「4年〇組のマスコットキャラクターを決めよう」「4年〇組夏祭りを開こう」などを行ってきた。本学級では話合いの中で全員が納得できる話合いになるようにめあてに沿いながら意見を出し、折り合いを付けながら意見をまとめていくことを大切に活動を持続してきた。学級会をしていく中で計画委員会を中心に会を進行し、付け足しの意見が言えたり、少人数での話し合いに深まりが見えたりするなど全員が協力して意見を出せるようになってきた。そして、みんなの意見を尊重しながらも全員が納得できるように合意形成を図ろうとする姿が見られるようになってきた。課題として、話し合う時に自分たちがやりたいことを優先してしまうあまりに提案理由やめあてから逸れてしまうことや自分の意見が正しいのかと自信を失って発言できなくなってしまう場面もあるので、事前に提案理由を共有して理解する場をつくるとともに、学級会内で友達の意見を聞いて進んで発表できるといった受容性や積極性をもった話合いになることを期待している。

(2) 議題選定の理由

本議題は、学級活動(1)「学級や学校の生活づくりへの参画」のA「学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関わるものである。1学期に集会やマスコットキャラクター作りを通して、学級で活動する楽しさを味わってきた。「みんなで2学期に頑張ったことを称え合い、認め合う雰囲気を通して、クラスの仲を深めたい。」という児童の提案によるものである。「会で何をするか」「会を盛り上げる工夫」「どんな役割が必要か」の三つの話合いの柱を通して、お互いの意見を尊重し、折り合いをつけながら話合いが進められる力を育成したい。また、「社会科見学のアルバムを作ろう」「あいさつキャンペーンをしよう」など他の議題も出たが、会に向けての準備や運営をする中で、男女関係なくクラス全員で協力して多くの子と関わろうとする姿勢や、会を通して互いを尊重し合うことの大切さを味わわせたいという理由から、児童とともに本議題を選定した。

3 研究課題との関わり

(1) 研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2) 研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
～特別活動の「見方・考え方」を働かせた話し合い活動の充実～

(3) 研究課題解決のための視点と手立て

視点Ⅰ 自ら課題を見出し、適切に議題を設定することで、児童が当事者意識をもって主体的・対話的で深い学びを実現できる。

手立て① 議題設定案カードの提示により、児童の議題設定をサポートする。

手立て② 提案理由をキーワード化することで、自分たちの課題・話し合う理由が明確になりクラス全員が当事者意識をもてるようにする工夫。

視点Ⅱ 自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを受け取ったりする経験を積み重ねれば、よりよい人間関係の形成や集団生活の構築に繋がる話し合い活動になる。

手立て① 話し手が安心して発表できる雰囲気を作るための聞き手の姿勢の工夫。
(話し合いの魔法の言葉・聞き方の指導)

手立て② 学級会ノートに児童が自信をもって発言できるように教師が励ましや助言をコメントする工夫。

手立て③ 提案理由をキーワード化することで児童が自分の意見を伝えやすくする工夫。

視点Ⅲ 話し合ったことを実践すれば自分が集団に参画し、主体的に関わろうとする姿勢を醸成できる。

手立て① 実践を通して自分たちが成し遂げた達成感と喜びを共有し、振り返ることによって次の実践に繋げる工夫。

4 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日 時 活動の場	児童の活動 ○計画委員会●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
○月○日(○) 昼休み	○議題選定をする。決定する。 〈提案された議題〉 ①2学期がんばったね会をしよう ②社会科見学のアльバムを作ろう ③あいさつキャンペーンをしよう	・議題選びの視点を念頭に置いて選定するよう指導する。	◎学級生活をよりよくするために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。【態】 (提案カード・観察)
○月○日(○) 昼休み	○活動計画を作成する。 (提案理由、めあて、話し合うこと、役割分担)	・提案者の思いや願いが学級全体の共通の問題として提案理由を深められるようにする。 ・決まっていることの内容は教師が設定する。	◎計画委員の役割、話し合い活動の進行の仕方について理解している。【知・技】 (活動計画・観察)
○校時	○話し合うことを全員に知らせる。 ●学級会ノートに自分の考えを記入してくる。	・考えることができない子については、自分の考えを決定する際に、いくつか候補を背面黒板に掲示しておく。その中から、自分の意見を決定できるようにする。	◎自分事としてとらえ、自分の考えを持つようとしている。【態】 (学級会ノート、観察)
○月○日(○) 帰りの会	○全員の学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。 ○出された意見をまとめ、短冊に記入する。	・話し合いの見通しがもてるように、あらかじめ短冊に記入させておく。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

よりよい学級生活をつくるため、お互いを認め合い3学期もクラスの間みんなとがんばろう
と思える計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

学級会 計画ノート

第〇回 〇月〇日(〇) 〇時間目

議題	2学期がんばったねの会をしよう		
提案理由	たくさんの行事があった2学期だったけれど、4年〇組みんなといっしょに協力し合うことで楽しくがんばれた。2学期がんばったね会では、男女笑顔でレクをすることやセレモニーをすることで、おたがいのがんばりをみとめあったり、たくさんの子たちとより関わり合える機会をもてるようにしたりしていく。この2学期がんばったね会を通して、3学期もみんなとより仲よくスタートできるようにしたい。		
全体のめあて	男女仲よく、みんなでおたがいのがんばりやよさをみとめ合える会にしよう。		
決まっていること	時間は45分 場所は教室 やることは2～3つくらい(イベントは30分) 〇月〇日(〇)の〇時間目		
役割	司会() () ノート記録() 黒板記録() ()		
話合いの順序	時間	気をつけること	用意するもの
1 始めの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由 5 めあての確認 6 決まっていること	5分	・聞きやすい声の大きさ、速さで言う。 ・自分のめあてをすらすら言えるようにしておく。 ・話し合う内容をクラス全員で確認する。 ・提案理由の大切な部分とキーワードを先生と確認する。 ・話合いを通じて成長したいことを確認する。 ・ノート記録の子と打ち合わせをする。 ・話合いの条件を確認する。	・学級会ノート ・スケッチブック ・学級会グッズ
7 話合い 柱1「会で何をするか」	15分	・黒板記録、ノート記録をとりながら進める。 ・時間を意識して進める。 ・短冊を使いながら進行する。 ・意見が出なくなったら周り1分くらい話し合う時間をとる。 ・内容、役割分担はどうするかなどを確認する。	・短冊 ・タイマー
柱2「会を盛り上げ工夫」	15分		
柱3「どんな役割が必要か」	5分		
8 決まったことの発表 9 ふり返り 10 先生の話 11 終わりの言葉	5分	・ノート記録は決まったことを分かりやすく発表する。	

(3) 教師の指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 決まっていることの確認 6 話合いのめあての確認 (7 先生の話) 8 話合い 話し合うこと① 「会で何をするか」 話し合うこと② 「会を盛り上げる工夫」 話し合うこと③ 「どんな役割が必要か」 9 決まったことの確認 10 振り返り 11 先生の話	・計画委員は自分のめあてなどが言えるよう事前に指導をする。 ・提案者は提案理由の発表練習を事前にさせる。 ・提案者の思いや願いを理解させ、話合いの中心となるよう事前に指導する。 ・提案理由の中のキーワードを押さえ、話合いの指針となるように意識付けを行う。 ・意見を分類したり、整理したりする。 ・話し合うこと①は「くらべ合う」段階から進められるよう、事前に短冊に書かせておく。 ・少数意見であっても発言の機会を与え、一人一人の思いや願いも大切に決めて決めるよう助言する。 ・自信をもって堂々と発表できるよう、あらかじめ助言しておく。 ・話合いが混乱した場合や、ねらいや提案理由などから大きくそれた場合は、話合いを止めて指導助言する。 ・意見発表時にキーワードを使いながら自分の言葉で考えを主張できた場合、別の賛成マークを付ける。 ・話し合うこと②は「出し合う」から始める。(①での決定事項をもとに) ・出された意見内容のイメージの共有化をさせる。 ・決定事項を明確にする。 ・良かった点や課題について自己評価し、友達の良かった点などについても相互評価できるように助言する。 ・先生の話の内容 ①合意形成したことへの価値付けや児童の称賛 ②今後の課題 ③計画委員へのねぎらい	◎簡単な理由をつけて考えを発表したり、友達の意見を受け入れたりしながら、合意形成を図ろうとしている。 【思・判・表】(観察) ◎友達の意見を聞き、よりよい話し合いになるよう考えている。 【態】(観察) ◎自分のことだけでなく、みんなのことを考えながら話し合ったことを振り返り、ノートに記入している。【態】(観察・学級会ノート)

12 おわりの言葉	④会への見通しと意欲付け等を簡潔に述べる。	
-----------	-----------------------	--

7 事後の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
【○月○日(○)】 【○月○日(○)～○月○日(○)】 【○月○日(○)○校時】 【○月○日(○)○校時】	・決まったことを学級会コーナーに掲示する。 ・係の分担をし、係ごとに準備をする。 ・「2学期がんばったねの会をしよう」 ・終了後、感想を記入する。 ・役割分担ごとに振り返りをする。	・決まったことを分かりやすく書くよう助言する。 ・係は必ず複数人で組むようにする。 ・自分の態度を振り返るとともに、友達のよかったところを認めるように助言する。	◎会の成功のために、係同士で協力し合いながら取り組んでいる。【態】(観察) ◎会の目的を考え、めあてを意識しながら友達と協力して取り組んでいる。【思・判・表】(振り返りシート・観察)

8 板書計画

議題…2学期がんばったねの会をしよう

柱①「会で何をするか」

レク

セレモニー

柱②「会を盛り上げる工夫」

柱③「どんな役割が必要か」

めあて

男女仲よく、みんなでおたがいのがんばりやよさをみとめ合える会にしよう。

決まっていること

時間は45分 場所は教室 やめることは2〜3つくらい(イベントは30分) ○月○日(○)の○時間目

今こうなっている

協力したからがんばれた

こうすることで

男女笑顔でレク
セレモニー
みとめあう
関わり合う機会をふやす

こうなりたい

みんなとよりなかよくなり
3学期もよいスタートをしたい

9 備考 在籍児童数 ○人

たくさんの行事があった2学期だったけれど、4年○組みんなといっしょに協力し合うことで楽しく最後までがんばれました。2学期がんばったね会では、男女笑顔でレクをすることやセレモニーをすることで、おたがいのがんばりをみとめあったり、たくさんの子たちとより関わり合える機会をもてるようにしたりしていく。この2学期がんばったね会を通して、3学期もみんなとより仲よくスタートできるようにしたい。

6